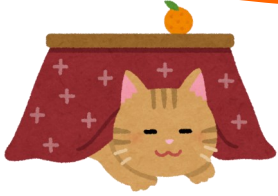




## “呼吸が苦しくなる病気” について



2024年も終わりを迎えようとしています。  
寒さの厳しい季節がやってきますのでわんちゃんねこちゃんの体調管理には十分に気を付けていきましょう。  
今回は寒い季節に多くなる“呼吸が苦しくなる病気”の1つである“肺水腫”についてのお話です。



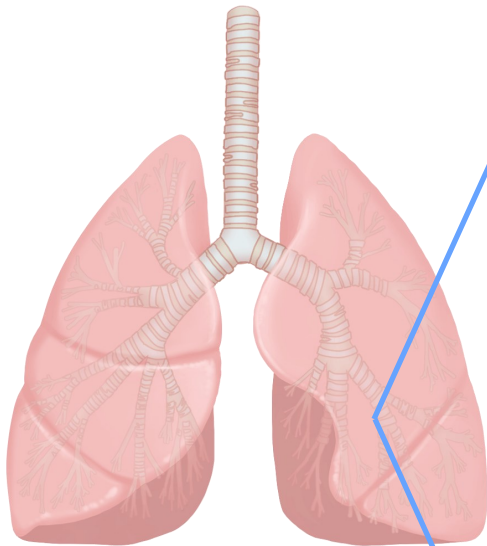
### <肺水腫とは>



**肺水腫**：肺に水がたまった状態のことです。たまった水により酸素と二酸化炭素の交換が障害され、呼吸不全に陥ります。それによって、体は低酸素に陥り、進行すると心停止を起こす可能性があります。

肺水腫は心臓病が原因となる“**心原性肺水腫**”と心臓病以外が原因となる“**非心原性肺水腫**”に大別されます。

犬は、心臓病の中でも弁膜症の罹患率が高く、“**心原性肺水腫**”が多いとされています。



肺に水がたまる

酸素と二酸化炭素の  
交換ができない

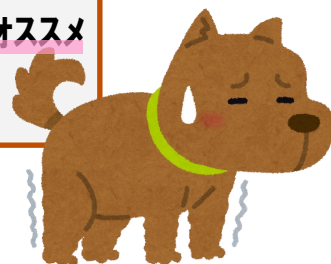
呼吸が苦しい



## <主な症状>

- ◇呼吸が早い
- ◇舌の色が紫色になる
- ◇ピンク色の泡状のものを吐き出す
- ◇疲れやすい
- ◇咳がでる

上記のような症状が見られた場合は、早めの受診・検査をオススメします。



## <さいごに>

肺水腫は命にかかわる非常に危険な病気です。日頃からわんちゃんの呼吸に注目しましょう。わんちゃんの呼吸に異変を感じた場合は、早めに胸のレントゲン検査や心臓のエコー検査をして早期発見・早期治療できるようにしましょう。

“高齢” “心臓が悪い” などのわんちゃんなどには特に注意しましょう！



## 年末年始の診療時間変更のお知らせ



12月31日(火)～1月3日(金)



午前 8:30～11:30

午後 13:00～15:00

WEB受付は終日使用できません。

1月4日(土)以降は平常通り診察いたします。

ファミリープラクティス・フードショップは1月1日～1月3日まで休みとなります。フードご希望の方は病院受付までお越しください。